

## 2019年度 地域連携活動報告書

連携先名称：熊本県山都町

協定締結日：2019/3/27

活動状況：継続中

連携先窓口：山都町役場 山の都創造課山の都づくり推進室

活動資金：自治体予算

：その他

担当教員（所属）：上田勉（理事長室長）

活動体制（単位）：大学

関連教員（所属）：教授 堀田和彦 国際食料情報科学部食料環境経済学科

活動内容：

### 1. 山都町の地域活性化のための連携事業

本法人が経営するグリーンアカデミー（令和2年度4月より(株)農大サポートが業務委託）と連携して、東京農業大学グリーンアカデミーでの特別企画講座を開催。また、受講者が学ぶ講座の連動性による充実、深化を目的に、山都町の自然、農業、文化を体験する「山都町体験ツアー（3泊4日）」を企画。

### 2. 稲花小学校への山都町有機米「ひのひかり」の給食提供

山都町有志の寄付事業として実施。有機農業の発祥の地として全国に知られる山都町が、町長および上田理事長室長（地元出身）の親戚の寄付により、冷涼な山間地稲作有機栽培の熊本県品種「ひのひかり」を、稲花小の児童および父母に提供することにより、地元産米のPR、児童への食育教育、自然教育に寄与する。

### 3. 創立128年東京農業大学収穫祭 地域連携ブース出展

2019年11月1～3日の3日間、有機農業が盛んな山都町の特産品をPR、販売。

活動内容・成果：

1. について 2019年11月26日 山都町地方創生アドバイザー下田美鈴氏による「中山間地域の現状と課題～熊本県山都町を事例に～」講座を開催し、参加者からは、有機農業や無農薬栽培についての重要性を学ぶ良い機会だと好評であった。講座終了後は、有機野菜やお米、ジビエ加工品やあか牛の試食を行った。

2. について 11月より3か月間給食のご飯として提供。また児童に真空パッ

ク（1Kg）を家庭に配布した。給食については、大変好評であった。冷えてもおいしい！また、自宅への配付では、父母よりこの「ごはん」ならお代わりをするくらい食べてくれるという声とともに、十数件が直接山都町から宅配の注文が入ったとの知らせを受けた。

3. について 豊富なラインナップの有機野菜を準備し、中でもキクイモの売れ行きが良く、来場者に大変好評を得た。

課題・改善点：

1. の「山都町体験ツアー」については、最初の取り組みだったが、中止となり残念である。来年あらためて企画するとの山都町からの連絡があった。今回の応募者は20数人、熊本空港各自集合での取り扱いだったが、人数によっては飛行機の手配からのツアー企画を考えたほうが良いかもしれない。その場合(株)農大サポートが募集する形を考える。

2. あと2年間は、寄付による継続を考えている。

特別企画 山都町寄付講座

# 中山間地域の現状と課題 -熊本県山都町を事例に-

参加費無料  
試食会あり!

日時

2019年11月26日 (火) 15:45～18:00

対象/定員 グリーンアカデミー生 60名

講師



下田 美鈴 (山都町地方創生アドバイザー)

講師プロフィール

熊本県上益城郡山都町犬飼在住。山都町(旧矢部町)に帰郷後仲間と図書館の無い町に図書館を作る活動始める。現在はお茶を中心とした有機農業を生業。熊本地震後地域の棚田を復興するため「山都町棚田復興プロジェクト」を立ち上げ、代表を務める。山都町立図書館長在任中「文部科学大臣賞」、地域活動において「農林水産大臣賞」受賞など複数受賞歴がある。

講座 15:45～16:45 グリーンアカデミー103教室

講座内容

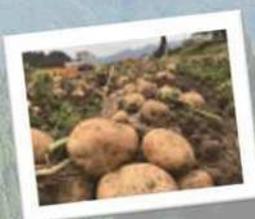
- 古代人が中山間地に住み始めたのはなぜか
- 中山間地の役割と現状
- 慣行農業と対比しての有機農業について
- 中山間地での活性化の取り組み

試食・懇親会 17:00～18:00 グリーンアカデミーホール3階

山都町自慢の有機野菜やお米、ジビエの加工品やあか牛の試食

申込受付 11月19日 (火) まで

※お申込みは事務室までお越しください。(月～金9:00～16:00)



きょうから、おこめのひんしゅは  
くまもとけんの「ひのひかり」です。



かぶサラダ  
トング 一つかみ



さんまのかんろに

菜飯（なめし（こまつな））  
おわん はんぶん



さつまじる  
おたま 一ぱい

